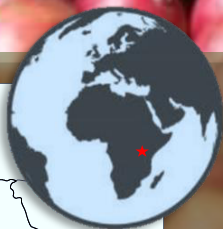


ルワンダ

MICOF JAS

ミコフ 有機JAS

アフリカ中央部キブ湖東岸、「千の丘の国」ルワンダでは、自然と共に営みを続ける生産者が有機農法でコーヒーを栽培しています。このひと粒のコーヒーは、平和を取り戻し、未来へ前進する彼らの大きな希望です。



Copyright(C) T-worldtias All Rights Reserved.

産地情報

国名：ルワンダ共和国
地区：チャンググ地方
チングワ地区
標高：1,300-1,800m
土壌：火山性土壌
雨量：1,320mm

商品詳細

品種：アラビカ
麻袋規格：30kg
収穫期：3月-6月
スクリーン：15up
認証：有機JAS
収穫：手摘み
精製：ウォッシュド
天日乾燥



産地情報 ～ルワンダ～

豊かな自然環境

ルワンダは東アフリカ中央、赤道よりやや南にある国で北西の火山郡から南東に向かって山岳地帯が連なる。国土のほとんどに草原となだらかな丘陵が広がっており、“千の丘の国”とも呼ばれる。

また南北には火山のある山脈が連ねており、耕作に適した肥沃な火山性土壌を有する。気候も標高が高いため赤道近くにもかかわらず温帯であり、そのため国土の大部分が耕作地として利用され人々の生活を支えている。

コーヒー栽培と環境

ルワンダ南西部にあるチングワ地区のコーヒー生産者団体MICOFAの圃場は1,300m以上の高い標高にあり、その肥沃な土壌と温暖な気候は、良質なコーヒーの栽培にとってはどうってつけ。

生産量もさることながら、その品質は世界的にも名高く、コーヒーという作物はルワンダの主要輸出農産物として世界中の人々に飲まれている。

コーヒー生産者と共に…

我々が初めてルワンダを訪れた2010年、当時民族対立で疲弊、荒廃していたルワンダをコーヒーを通して再建するために、ルワンダ初のフェアトレードの取組である水道施設の建設が始まった。

その後、2012年にはチングワ地区にあるガボザ小学校の増設改修を行い、2016年には同小学校で暮らしに役立つ知恵を育むための家庭科教室の建設を行い、裁縫・栄養・調理教育を初等教育課程での基礎科目としての定着を目指した。

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大に際しても、家庭科教室が感染拡大防止のための布マスク製作に活用されている。



顔の見える関係

ルワンダ
ミコフ生産者組合

Café

Think・Earth

